

平成30年度 小山地区まちづくり懇談会結果報告

- 1 日 時 平成30年11月2日(金)午後7時から午後8時38分まで
- 2 場 所 小山公民館大会議室
- 3 市側出席者 梅沢副市長、小山中央区長、井熊広域交流拠点推進部長、鈴木中央区副区長、樋口市民局次長
- 4 出席委員等 23人
- 5 傍聴者 7人
- 6 懇談会の要旨

テ ー マ 1	交通ネットワークの整備と今後の計画について
概 要	<p>「南北道路」と「東西道路」が整備されたが、相模原駅周辺の地域はJR横浜線で分断されたままの状況で、改善までには至っていない。</p> <p>また、地区内には東京都との都市間連携強化としての「宮上横山線」及び「宮下横山台線」や、補給廠北側の「北側外周道路」などの道路計画がある。</p> <p>駅周辺の状況改善や地区内の道路整備計画について、進捗状況及び今後の計画、完成予定について市の考え方を伺いたい。</p>
課題事項1	南北道路から相模原駅南口へ通行可能とする踏切改良の検討状況について
概 要	<p>昨年度のまちづくり懇談会で、「JR横浜線連続立体交差事業は長期にわたる事業であるため、南北一体のまちづくりを進める速効対策として、踏切部の改良を行うなどさまざまな視点から検討する必要がある。」と回答されている。</p> <p>踏切を改良して南北道路と相模原駅南口を車でも通行可能とすることは、南北一体のまちづくりを進めるばかりでなく、多くの市民が利用する道路の利便性を大きく向上させることにもつながると考えられる。</p> <p>南北道路と相模原駅南口をつなぐ踏切部の改良について、検討状況や今後の予定を伺いたい。</p>
市の取組等の説明	<p>相模原駅周辺地区のまちづくりについては安心とゆとりのある文化、行政が集積する中枢業務拠点の形成に向け取組を進めている。</p> <p>また、駅周辺のアクセス性を高めるため、周辺道路との連携など、広い視点で交通ネットワークの検討を行っている。</p> <p>その中で、市民の利便性向上を早期に行うため南北道路と東西道路の暫定供用を行ったが、その南北道路を駅南口へ接続させることで、更に利便性が高まると考えている。</p> <p>その向上策の一つとして、相模原踏切の改良による駅南北のアクセスを検討しているが、踏切幅による歩行者及び自転車への安全性の確保や周辺交差点への車両の集中、バス等の公共交通の定時性の確保など、さまざまな課題があることから、関係機関と協議を行いながら実現に向けて検討を行っていく。</p> <p>(都市建設局)</p>

主な質疑等	
質問要旨 (提案者)	<p>小山地区まちづくり会議では「次期総合計画・都市計画マスタープラン」の重点項目として、「相模原踏切」の改良を提言している。現状の踏切は南北道路ともつながっておらず、非常に狭く、通行しにくい危険な状況であるとする。</p> <p>今後、補給廠返還地の利用を考える上でも、相模原駅周辺の南北交流は重要な課題である。</p> <p>JR横浜線の連続立体や小田急多摩線の延伸、さがみ夢大通りへの南北道路の延伸等を考えれば検討事項はたくさんあると思うが、それらの目途がつくまで待っていては進展しないと思う。速効対策として早期の改良工事を希望する。</p>
回答	<p>さまざまな課題があるが、警察や公共交通事業者との協議を順次始め、課題を共有した中で早期の改良ができるかどうか検討、努力していくので、いましばらくお時間をいただきたい。</p> <p>(都市建設局)</p>
質問要旨	<p>課題が多数あることは分かるが、3年後とか、4年後とかの目途や目標を教えてください。</p>
回答	<p>連続立体事業が長期に渡るという調査結果を今年の6月に公表し、その中で速効対策として踏切の改良等が考えられることを導き出したところであり、これからさまざまな協議に入っていく。</p> <p>JRにも協議の依頼をしていて、相手方もあることなので、今の段階では何年後ということとは言えない。</p> <p>今後、毎年の懇談会の中で少しずつ話をさせていただきたい。</p> <p>(都市建設局)</p>

課題事項2	「宮上横山線」、「宮下横山台線」及び「北側外周道路」の進捗状況と今後の予定について
概要	地区内に計画されている「宮上横山線」、「宮下横山台線」及び「北側外周道路」のそれぞれの整備の進捗状況と完成予定を伺いたい。
市の取組等の説明	<p>宮上横山線については、東橋本二丁目交差点から町田市境までの670mのうち、平成28年度に車道及び歩道の整備42m、平成29年度には歩道の整備56mを行い、現在の用地の取得率は91%となっている。</p> <p>今年度については、京王線北側の69mの整備を行うとともに、残りの用地取得を進めていく。</p> <p>宮下横山台線については、宮下交差点から町田市境までの340mについて、本年6月に都市計画決定を行い、現在、地域のご協力をいただきながら、現況測量を行っている。</p> <p>この2路線に共通するが、今後も引き続き、境川の橋梁設置や道路の整備スケジュールについて、東京都と町田市と連携し、早期の完成に向けて取り組んでいく。</p> <p>相模総合補給廠北側外周道路については、道路用地の返還に向け、基地境界部に移設するフェンスや擁壁の構造など、必要な条件工事の詳細設計を進め、米軍と協議を行っている状況である。</p>

	<p>今後についても、米軍と調整を図り、境界部に係る協議が完了次第、返還用地以外に必要な道路用地の取得に向け、用地測量等を実施していきたい。</p> <p>(都市建設局)</p>
<p>主な質疑等</p>	
<p>質問要旨 (提案者)</p>	<p>毎年この懇談会でテーマとして取り上げて質問しているが、同じような回答で進捗していない状況と思われる。</p> <p>宮上横山線については、昨年より用地の取得率が5ポイント上がり、工事も進んでいることは分かるが、いつ完成するのか知りたい。</p> <p>宮下横山台線及び北側外周道路についても、まだ始まったばかりとのことであるが、目標時期を知りたい。</p>
<p>回答</p>	<p>宮上横山線の用地取得率は91%まで上がり、概ね4年後の平成34年度の供用を目途に取り組んでいる。</p> <p>宮下横山台線については、都市計画決定をしたばかりであり、今後測量を進め、概ね3年後から用地取得を開始し、平成39年度の供用に向けて取り組んでいく。</p> <p>相模総合補給廠北側の外周道路も、米軍の返還に伴う工事はさまざまな条件があるので多少前後するが、平成39年度を目標に進めていきたい。</p> <p>(都市建設局)</p>
<p>質問要旨</p>	<p>道路整備の進捗状況を随時ホームページ等で公開していただければ、毎年テーマとして取り上げなくても良いと思うので、よろしくお願ひしたい。</p>
<p>回答</p>	-
<p>質問要旨</p>	<p>市の予算において、小山地区のこの幹線については、何番目ぐらいの重要性で、予算規模やどのような方向になっているかということを示していないので、市側が適当に答えている印象を受ける。「検討する」という回答は適切ではないと感じる。</p>
<p>回答</p>	<p>市には相模原市新道路整備計画という道路の整備計画がある。</p> <p>宮上横山線や宮下横山台線が何番目という回答はできないが、国道16号線へ抜ける幹線道路という位置づけがあるので、順位は高い方である。</p> <p>相模原市新道路整備計画は市のホームページに掲載されている。</p> <p>(都市建設局)</p>
<p>質問要旨</p>	<p>補給廠にミサイル防衛部隊の司令部を新設するというニュースがあるが、返還に関して影響はあるのか。</p>
<p>回答</p>	<p>米軍とは、ミサイル防衛部隊の件とは別の次元で、粛々と返還について交渉しているので、返還が遅れることはないと考えている。</p> <p>(都市建設局)</p>

<p>課題事項3</p>	<p>地区内道路の危険箇所について</p>
<p>概要</p>	<p>県道相模原立川線と市道すすきの氷川の動線は、クランク状で円滑な交通の妨げとなっているため、検討をお願いしたい。</p> <p>また、市道すすきの氷川を北から南へ走行し、相模原駅北口へ進入する部分について、小山踏切が閉まって渋滞している際に、対向車線にはみ出して駅北口に</p>

	進もうとする車両があり危険である。駅北口に進入する左折専用レーンの設置をお願いしたい。
市の取組等の説明	<p>クランクについては前々から渋滞が激しいと指摘されているが、南北道路や東西道路が供用開始したことにより、市道すすきの氷川や市道すすきの小山で交通量が減少していることは、交通量調査で明らかになっている。</p> <p>この場所を抜本的に改良する方法もあるが、宮下横山台線が完成するとクランクの交通量の減少が予想されるので、現在はその工事を優先的に進めるべきと考えている。</p> <p>その後、交通量の変化を確認してから、クランクの対策を検討していきたい。</p> <p>相模原駅北口に進入する部分に左折レーンをつくっても、このレーンに向かってさらに手前から道路を越えてくることも予想され、結局問題は解決しない。</p> <p>安全性を考え、真ん中にある安全帯にカラーコーンや赤いポールを設置し、危険な通行ができない状況にする方が効果が高いと思われ、今後警察等とも協議をしていく必要があると考えている。</p> <p>(都市建設局)</p>
主な質疑等	
質問要旨 (提案者)	<p>昨年、尾根幹線関連で地権者に対する説明会があり、開通まで10年かかるという話を聞いたが、現在のクランクの状態を10年間放置するということが。</p> <p>橋本方面から補給廠に向かい町田方面は左折、矢部方面は直進するが、直進する場合右側レーンを通る必要があり、知らない人が運転すると大変危険である。</p> <p>相模原駅北口に進入する部分について、そのような方法があるならば、早急に対応して欲しい。また、緑地帯を活用することにより、何かできることがありそうなので、行政側で検討して欲しい。</p>
回答	<p>クランク部分のレーンが分かりにくいとのことであるので、道路標識の設置等を含め、持ち帰って検討する。</p> <p>相模原駅北口に進入する部分について、今いただいた意見も踏まえ検討する。</p> <p>(都市建設局)</p>
質問要旨	クランクのところは、尾根幹線に向かう大型トラックが通り、東京へ抜けていくので、まだまだ渋滞は続くのではないかと懸念している。できることから改善をお願いしたい。
回答	-
質問要旨	左レーンを新たに設置するのではなく、交通ルールや道路交通法等の順守の徹底について、警察等と検討を進めていただきたい。
回答	-
質問要旨	東西道路や南北道路を大型車両が通行しているが、停止線の位置等の協議を警察としているのか。近くに幼稚園や学校があり、大変危険である。
回答	<p>道路を新たに整備する場合は警察等と協議する。その過程で大型車の軌跡等を全て検証している。</p> <p>(都市建設局)</p>

テーマ 2	自転車や高齢者の交通安全対策について
概要	<p>中央区は、自転車事故の割合が県内で 6 番目に多く「自転車交通事故多発地域」に指定されている。</p> <p>小山地区自治会連合会では、昨年度に自転車交通事故防止対策として、中央区の他地区の自治会連合会と協働し「自転車も止まれ」の標柱幕を地区内に掲示している。</p> <p>また、地区内の団体においても「自転車や高齢者の交通安全」などについて啓発を行っており、交通安全対策は中央区とともに地区としても継続して取り組むべき課題として認識している。</p> <p>小山地区には多くの人々が利用する相模原駅があるほか、「南北道路」や「東西道路」の開通などにより、交通量の増加や車・人の流れが変わっていくことが想定される。</p> <p>本市の交通事故の約 3 割を占める自転車や高齢者の交通安全対策について懇談したい。</p>
課題事項 1	自転車や高齢者の事故を減らす取組について
概要	<p>小山地区でも、自転車のルールが守られていないことや地区内でも高齢化が進行していることから、自転車や高齢者の交通事故の懸念も増えている。交通事故を減らすため、地区でも青色パトロールカーを活用した交通安全パトロールなどの交通安全の啓発活動を行っているが、行政と地区が連携して行うことができる活動などについて伺いたい。</p> <p>多くの人々が通行する駅周辺や地区内においても、自転車の運転または歩行をしながらスマートフォンを操作する人が多く、交通に危険を覚えることも多い。市内全域においても同様の懸念があると思われるが、この状況を市としてどう捉え、これを改善する方策について伺いたい。</p>
市の取組等の説明	<p>中央区は県内でも自転車に関係する事故の割合が多い地域ということで、「自転車交通事故多発地域」と「高齢者交通事故多発地域」に連続して指定され、市としても非常に危機感を持って交通安全対策に取り組んでいる。</p> <p>その交通安全対策については、信号機や横断歩道、自転車専用レーンの設置等のハード面の整備もあるが、自転車運転手あるいは歩行者の意識啓発といったソフト面の取組もある。</p> <p>意識啓発については、行政と警察だけでは当然なりゆかないので、従前から地域の皆様とさまざまな取組をしている。</p> <p>「中央区自転車事故等対策連絡会」では、高校生の登校・下校時間に合わせ、事故の多い交差点において、地域の皆様と区役所職員で啓発活動を実施し、自転車交通事故の抑制に効果があった。</p> <p>昨年 1 2 月に制定された「相模原市安全に安心して自転車を利用しようよ条例」では、自転車保険への加入義務化、地域や家庭、職場、学校などでの啓発や交通安全教育の推進の必要性について規定しているが、この条例の趣旨を市民に知ってもらうため、パンフレット等による周知とともに、保険加入の促進に取り組んでいる。</p> <p>高齢者事故対策については、今年度、民生委員の皆様の協力を得て、高齢者の</p>

	<p>戸別訪問時に啓発リーフレットの配布をお願いしたほか、敬老会など様々な機会を通じて高齢者の方に直接、交通事故への注意の呼びかけを行っている。</p> <p>交通事故を1件でも多く減らすためには、市民一人ひとりが「交通事故に遭わない」、「交通事故を起こさない」という意識を持つことが大切で、今後も地域の皆様とともに取り組んでいきたい。また、警察から交通事故のデータを提供してもらい、それらを踏まえた対策にも取り組んでいきたい。</p> <p>スマートフォンを操作しての自転車の運転や歩行については、周囲への警戒心、注意力が薄れ、重大な事故につながる大変危険な行為であり、交通事故の新たな要因として全国的にも問題になっている。</p> <p>市としても、これまでも高校生に対する啓発キャンペーンや地域における交通安全教室などにより、ながら運転やイヤホンをつけての走行に対する危険性等の周知を図ってきた。</p> <p>条例の制定等を踏まえ、自転車利用者は加害者にもなる可能性があり、万一加害者になったときには、自分の人生あるいは家族の人生も狂わせてしまうような非常に危険なものであるということについて、特に力を入れて周知をしている。</p> <p>今後についても、地域の皆様や警察、関係団体と連携を図り、さまざまな機会を通じて、スマートフォン操作の危険性等を含めた交通安全の啓発活動に取り組んでいきたい。</p> <p>(中央区役所)</p>
<p>主な質疑等</p>	
<p>質問要旨 (提案者)</p>	<p>「保険加入の促進に取り組む。」とのことであるが、現在、自転車賠償保険に加入する方法としては、個人で掛けている火災保険や傷害保険の特約で担保する方法と、自転車修理店の保険、一般財団法人全日本交通安全協会のサイクル保険などに加入する方法がある。</p> <p>このように多数の保険があるため、高齢者から「どの保険に入れば良いのかわからない。」などの相談を受ける。</p> <p>市として新たに制定する保険はあるのか、無い場合は推奨する保険はあるのか伺う。</p> <p>また、「自転車利用者は加害者になる可能性がある」ことを特に力を入れて周知しているとのことであるが、ながら運転は相変わらず減っていない。どのように周知しているのか伺いたい。</p>

回答	<p>「相模原市安全に安心して自転車を利用しようよ条例」の制定により、本年7月から自転車利用者等は「自転車損害賠償保険等」への加入が義務づけられた。</p> <p>保険については、個人賠償責任保険として、自転車向けの保険のほか、自動車保険や火災保険、傷害保険の特約があり、その他にも共済や会社等の団体保険、クレジットカード等に付帯する種類があるなど、多くの保険が用意されている。</p> <p>また、加入する際には、掛金額のほか、補償限度額、示談交渉サービスやケガの補償の有無、家族加入か個人加入かなど、自分に合った保険を選択する必要があるため、市として新たに保険を創設することは難しい。</p> <p>市民がそれぞれの事情に応じて適切な保険を選択できるよう、引き続き、ホームページやチラシ等を活用し必要な情報提供に努めながら、問合せにも丁寧に対応し、保険加入の一層の促進に向けて取り組んでいく。</p> <p>自転車事故で加害者になり、損害賠償をした他都市の事例等をチラシに掲載し、学校等に配布している。</p> <p>(中央区役所)</p>
質問要旨	<p>高齢者の中にはパソコン等に疎く、ホームページを見られない者がいるので、ホームページ以外でも、「保険の種類」や「保険加入のアドバイス」等を紙ベースでもっと知らせるべきではないか。</p>
回答	<p>ホームページのみならず、紙ベースでも解説するとともに、問合せにも職員が適切に説明し、高齢者にも理解してもらえよう取り組んでいきたい。</p> <p>(中央区役所)</p>
質問要旨	<ul style="list-style-type: none"> ・9月末現在の自転車に関する事故件数は昨年度より減少しているが、楽観はできない。 ・我々は青パトで注意喚起を目的として巡回したり、相模原駅周辺でチラシを配ったりしている。交通安全教室も開催するので参加して欲しい。
回答	-

課題事項2	自転車レーンや自転車歩行者道の通行について
概要	<p>相模原駅南口から西門方向へ向かう「さんはぜ通り」の自転車レーンには、停車している自動車が多数あり、その車両を避けて通行しなければならない。また、レーンを通行する際のルールも周知されているとは言えない状況である。</p> <p>このことから、レーン通行時の事故リスクが高まってしまっている状況となっているが、市の考え方や対応策を伺いたい。</p>
市の取組等の説明	<p>「さんはぜ通り」については、警察の「駐車違反取締最重点地域」として指定され、駐車監視員等による駐車違反の取締が行われているが、荷捌き車両等の停車車両が存在していることは承知している。</p> <p>対策として、停車空間や荷捌き空間を別に確保することなどが考えられるが、沿道の土地利用状況等を踏まえると、新たな空間の確保は困難と考える。</p> <p>自転車レーン上に車両が停車している場合は、停車車両の右側を後方から来る車両に注意しながら通行することとなるが、状況に応じては、周囲の安全確認を行いながら、歩道を通行することも事故リスクを下げる1つの方法と考える。</p> <p>(中央区役所)</p>

主な質疑等	
質問要旨 (提案者)	<p>「状況に応じては、周囲の安全確認を行いながら、歩道を通行する。」とのことであるが、「さんはず通り」はバス停や駐車場入り口を除き大半が鎖により歩道と車道が分断されている。</p> <p>このような状況では、自転車は否応なく車道を走らざるを得ず、事故のリスクは高いと思われるが、市として何らかの対策はないのか。</p>
回答	<p>「さんはず通り」にはチェーンを設置し歩道と車道を分離しているが、これは歩行者がむやみに車道を横断することを防止するために設置したもので、交通安全上必要なもので外すことは難しい。</p> <p>こうした中、特効薬は無いが、自転車交通事故等の防止を図るためには、自転車利用者に周囲の安全に十分留意してもらい、交通ルールやマナーを守り、車道または歩道を通行してもらうことが重要と考えている。</p> <p>自動車運転手に対しても、駐停車が良好な交通環境に影響を与えることについてしっかり認識してもらい、運転ルールやマナーの向上を求めていく必要があると考えている。</p> <p>区役所としても、引き続き、啓発活動に取り組んでいきたい。 (中央区役所)</p>
質問要旨	<p>結局啓発しかないということであるが、自転車レーンはまだあまり使われておらず、歩道を走行している自転車が大半である。</p> <p>車側にも自転車が出てくる可能性があることの周知、PRを徹底して欲しい。</p>
回答	-
質問要旨	<p>駅から西門までの「さんはず通り」には、駐車場を持っていないお店が多く、横道にもたくさんの車が停車している。</p> <p>「夢大通り」の歩道部分は自転車用と歩行者用を線で区分しているが、ここもほとんど守られていない状況で危ない。</p>
回答	<p>「夢大通り」は安全に通行するために歩行者と自転車を分けているが、あまり守られていない状況とのことであるため、引き続き周知を図っていきたい。 (中央区役所)</p>